広報ひこね
通巻第1272号
（平成24年8月1日発行）
発行：彦根市
編集：情報政策課
●1日・15日発行
▼「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。
▼廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▼この「広報ひこね」は49,500部作成し、1部当たりの単価は10円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

話題のひろば

自分たちの言葉で語った中学生広場

7月6日、ひこね市文化プラザ（野瀬町）で「第14回彦根市中学生広場」が行われました。

市内の7つの中学校の1年生が、作文発表などから、仲間が抱いている思いを聞くことで、その思いに共感し、自分自身を見つめ直す機会として開催しています。

生徒たちは、部活動のこと、平和について感じたこと、自由について思うことなどを自分たちの言葉で語っていました。

飛べ！ペットボトルロケット 彦根市サイエンスプロジェクト

7月8日、グリーンピアひこね（清崎町）で彦根市サイエンスプロジェクト「子ども科学教室」が開かれ、ペットボトルロケットの製作と飛行実験を行いました。

湖東定住自立圏の事業の一環で、今回は彦根市、愛荘町、豊郷町の小学4年生から中学1年生が参加しました。グループで協力しながら製作したペットボトルロケットに水と空気を入れ、それが勢いよく高く飛び出すと、子どもたちから大きな歓声が上がっていました。

親子でダンスに親しもう ヒップホップダンス講座

7月9日、西中学校（金亀町）で、2年生の生徒と保護者を対象に、ヒップホップダンス講座が行われました。

今年度から保健体育でダンスが必修になったこともあり、親子でダンスに親しみ、一緒に踊って交流する時間を持つことがねらいです。

活躍中の市内出身のダンサーを講師に招き、約2時間ダンスレッスンが行われました。生徒と保護者らは曲に合わせてグループ発表をして、ダンスを楽しみ、気持ちのいい汗をかいていました。

光の芸術に歓声

表紙の写真

7月14日、犬上川無賃橋（高宮町）上流で、協同組合高宮商工繁栄会が主催する高宮納涼花火大会が行われました。

第100回の今年は、音楽に合わせて打ち上げられるスターマインや仕掛け花火などがあり、合計約3、500発の花火が夜空を彩（いろど）りました。

川の両岸などでは、家族連れやカップルらが色鮮やかな花火に歓声を上げていました。

また、花火大会には、彦根中学校の生徒や地域の人などが、当日の準備や翌日の清掃を行い、地域みんなで行事の成功に協力していました。

人口と世帯数

平成24年7月1日現在

人口	112,564人	（＋79）
男	55,638人	（＋35）
女	56,926人	（＋44）
世帯数	44,453世帯	（＋64）

（　）内は前月との比較